

鹿児島大学医学部保健学科

業 績 目 録

(2014年1月～12月)

業績目録

〔看護学専攻〕

〔総合基礎看護学講座〕

A. 著書

1. 小西恵美子編集. 看護倫理：よい看護，よい看護師への道しるべ. 改訂第2版. 南江堂，2014年12月30日発行.

B. 論文

1. 小西恵美子，菊地透，麻原きよみ：保健師と看護学生に放射線を教える・学ぶ. 保健師ジャーナル，71，1，78-82，2015.
2. 今村圭子，立石憲彦：在宅における介護者の介護負担感に影響を及ぼす将来不安. 県立長崎大学紀要，12，55-69，2014.
3. 松成裕子，金丸由美子，浦田秀子，新川哲子：長崎原爆投下時における看護師の看護活動についての聞き取り調査. 日本災害看護学会誌，16，2，46 - 55，2014.
4. 松川京子，土橋由美子，松成裕子，小西恵美子：地域・公衆衛生領域における放射線看護 - 国内文献の検討 -，日本放射線看護学会誌，2，1，44 - 49，2014.

C. 学会発表

1. 豊田智子，八代利香：退院調整・支援看護師の意思決定の拠り所. 日本看護倫理学会第7回年次大会，名古屋市，2014.5.24-25.
2. 持留里奈，八代利香：医師が臨床現場で経験する倫理的ジレンマ. 日本看護倫理学会第7回年次大会，名古屋市，2014.5.24-25.
3. 小西恵美子，山下早苗：看護師の優しさと倫理的責務. 日本看護倫理学会第7回年次大会，名古屋市，2014.5.24-25.
4. 松本衣未，堀裕子，松成裕子：看護師における放射線教育の現状と課題 福島第一原子力発電所事故前後の比較検討 . 日本放射線看護学会第3回学術集会，大阪市，2014.9.5-6.
5. 松川京子，中馬育子，土橋由美子，吉田浩二，松成裕子：当施設における粒子線治療看護研修開催への取り組み. 日本放射線看護学会第3回学術集会，大阪市，2014.9.5-6.
6. 堀裕子，松本衣未，松成裕子：核医学検査における看護師の静脈注射実践の現状と課題 PET・RI検査に関連した文献の静脈注射実践基準毎の検討 . 日本放射線看護学会第3回学術集会，大阪市，2014.9.5-6.
7. 土橋仁美，松成裕子：放射線に関する看護基礎教育が看護業務に及ぼす影響. 日本放射線看護学会第3回学術集会，大阪市，2014.9.5-6.
8. 武田沙江加，松成裕子：看護学生の放射線に対する知識・イメージの比較. 日本放射線看護学会第3回学術集会，大阪市，2014.9.5-6.
9. 中俣直美：喀痰吸引研修事業第3号研修(特定者対象)の指導看護師技術評価の実施，技術評価から見えてきた今後の課題 . 第2回日本難病ネットワーク学会学術集会，鹿児島市，2014.11.15.

D. その他

1) 論文・報告書

1. 八代利香：チーム医療における看護の果たすべき役割と倫理. 日本看護倫理学会誌，6，1，81-82，2014.
2. 今村圭子，浦田秀子：ナースングプロセス 胃潰瘍 看護編，Clinical Study，35，4，33-47，2014.

2) 講演

1. 中俣直美：鹿児島県臨床指導者研修会 講義「実習指導の原理」，鹿児島県看護協会，2014. 1.7, 1.8, 1.20.
2. 中俣直美：喀痰吸引・経管栄養の実習，家族以外の介護者のための喀痰吸引等講習会，全10回，日本ALS協会鹿児島県支部，鹿児島市，2014.1.26, 2.23, 7.6, 8.31, 10.26, 7.13 (薩摩川内市)，8.17 (奄美市)，9.7 (西之表市)，11.2 (霧島市)，12.14. (鹿屋市)
3. 中俣直美：看護研究の進め方・まとめ方 (グループ指導) 全11回，鹿児島市医師会病院看護部研修，鹿児島市，2014.1.28～12.16.
4. 八代利香：看護実践における倫理. 公益社団法人沖縄県看護協会 平成25年度認定看護管理者ファーストレベル研修，那覇

業績目録

- 市, 2014.1.31.
5. 八代利香：倫理的配慮．公益社団法人鹿児島県看護協会 平成25年度実習指導者講習会，鹿児島市，2014.2.5.
 6. 中俣直美：講義「医学の基礎知識」，平成26年度福祉用具専門相談員養成研修，社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会主催，鹿児島市，2014.6.28.
 7. 山口さおり：喀痰吸引・経管栄養の実習，特定認証交付のための喀痰吸引等講習会，日本 ALS 協会鹿児島県支部，鹿児島市，2014.6.29.
 8. 八代利香：看護実践における倫理．公益社団法人沖縄県看護協会 平成26年度認定看護管理者ファーストレベル研修，那覇市，2014.7.18.
 9. 中俣直美：看護研究(統計)，鹿児島市医師会病院看護部研修，鹿児島市，2014.7.29.
 10. 八代利香：研究計画書の書き方と研究における倫理．看護研究の基礎及びデータ解析入門，平成26年度鹿児島大学医学部保健学科公開講座，鹿児島市，2014.7.26.
 11. 八代利香：倫理教育について - 現代の若者にどう教育していくか - ．鹿児島県看護教育協議会 研修会，鹿児島市，2014.8.20.
 12. 八代利香：看護実践における倫理．公益社団法人鹿児島県看護協会 平成26年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程，鹿児島市，2014.8.27-28.
 13. 中俣直美：喀痰吸引概説，特別支援学校における特定認証交付のための喀痰吸引等 講習会，鹿児島県教育庁義務教育課特別支援教育，鹿児島市，2014.8.26.
 14. 中俣直美：喀痰吸引・経管栄養の実習，特別支援学校における特定認証交付のための喀痰吸引等講習会，鹿児島県教育庁義務教育課特別支援教育，鹿児島市，2014.8.27.
 15. 中俣直美：ALS 療養者の現況，公開講座「在宅 ALS (筋萎縮性側索硬化症) 療養者の支援」鹿児島市，2014.8.30.
 16. 中俣直美，山口さおり，今村圭子，楠元裕佳，田中久美子，出口明美，有川理恵，西村広宣，上野かおり，井龍祐美子：在宅人工呼吸器装着患者のケアに必要な看護技術，公開講座「在宅 ALS (筋萎縮性側索硬化症) 療養者の支援」，鹿児島市，2014.8.30.
 17. 八代利香：看護倫理について．鹿児島県立北薩病院 看護研修会，伊佐市，2014.9.24.
 18. 松成裕子：看護ケアの質的評価の仕方 - 評価指標の作り方 - ．平成26年度鹿児島県看護師長研修会，鹿児島市，2014.10.5.
 19. 今村圭子，楠元裕佳，山口さおり：喀痰吸引・経管栄養の実習，特定認証交付のための喀痰吸引等講習会，日本 ALS 協会鹿児島県支部，鹿児島市，2014.10.19.
 20. 中俣直美：看護研究の基礎，鹿児島市医師会病院看護部研修，鹿児島市，2014.10.28.
 21. 八代利香：看護倫理．公益社団法人鹿児島県看護協会 平成26年度研修会，鹿児島市，2014.11.8.
 22. 八代利香：看護倫理．鹿児島市立病院 平成26年度看護科看護師長・副看護師長研修，鹿児島市，2014. 11. 19.
 23. 八代利香：看護論 ．公益社団法人鹿児島県看護協会 平成26年度実習指導者講習会，鹿児島市，2014.12.9, 12.

(学会座長)

1. 中俣直美：第2回日本難病医療ネットワーク学会，シンポジウム，若手スタッフが語る！難病支援チームを育成するには何が大切か，鹿児島市，2014.11.15.

〔臨床看護学講座〕

A. 著 書

1. 木佐貫彰，大石充，竹中俊宏，Fabry 病，心エコーハンドブック 心筋・心膜疾患 (竹中克，戸出浩之 編)，2014:94-99

B. 論 文

1. 日下部明彦，平野和恵，池永恵子，齊藤直裕，檜柑富貴子，沖田将人，稲盛正彦，白土明美，森田達也：地域の多職種で作る「死亡診断時の医師の立ち居振る舞いについてのマニュアル」，癌と化学療法，2014;41 :42-44
2. 丹羽さよ子，田口朋子，松田史代，榊間春利，森本典夫：地域在住高齢者の視機能と関連要因の検討，鹿児島大学医学雑誌，2014;65(2-3):37-47
3. 久松美佐子，前田則子：A学園女子中学高校生の自己体型認識が及ぼす影響の検討，鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要，

業績目録

2014;18 : 50-55

4. 前田則子, 久松美佐子: A学園女子短大生および大学生の自己体型認識が及ぼす影響. 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀, 2014;18 : 50-55
5. 西元勝視, 堤由美子: 精神科看護師の隔離室使用患者に対する開錠判断プロセス, 日本看護学会論文集精神看護, 2014;44 : 70-73

C. 学会発表

1. 清水佐智子, 緩和ケア場面のロールプレイにおける看護学生の学び, 第28回日本がん看護学会学術集会, 2014年2月(新潟)
2. 清水佐智子, 看護学生の終末期患者へ向かう態度は3か月後も継続するか -FATCOD -FormB-Jを用いた3か月後の評価, 日本看護学教育学会第24回学術集会, 2014年8月(千葉)
3. 堀添善尚, 高崎州亜, 毛利翔悟, 徳重明央, 植屋奈美, 茶園秀人, 水上尚子, 湯浅敏典, 宮田昌明, 木佐貫彰, 大石充, 心臓原発滑膜肉腫と思われた右房内腫瘍の一例, 第25回日本心エコー図学会学術集会, 2014年4月(金沢)
4. 湯ノ上真吾, 木佐貫彰, 内匠拓朗, 片岡哲郎, 水上尚子, 堀添善尚, 茶園秀人, 植屋奈美, 高崎州亜, 湯浅敏典, 皆越眞一, 大石充, 左房 Global Longitudinal Strainj を用いた左房圧の推定, 第62回日本心臓病学会学術集会, 2014年9月(仙台)
5. 横山弥生, 木佐貫彰, 川野範子, 垣花泰之, 井本浩, 心臓・大血管手術後の心房細動の発症因子の検討, 第62回日本心臓病学会学術集会, 2014年9月(仙台)
6. 湯浅敏典, 植屋奈美, 茶園秀人, 堀添善尚, 窪園琢郎, 高崎州亜, 水上尚子, 木佐貫彰, 宮田昌明, 大石充, 心不全における Minimal Exercise echocardiography の有用性, 第62回日本心臓病学会学術集会ビジュアルワークショップ: 心エコー図の新しい動向, 2014年9月(仙台)
7. 堀添善尚, 湯浅敏, 茶園秀人, 植屋奈美, 水上尚子, 高崎州亜, 宮田昌明, 木佐貫彰, 大石充, 左室壁の性状変化を経時的に観察し得た心サルコイドーシスの一例, 第24回日本超音波医学会九州地方会学術集会, 2014年9月(福岡)
8. N Ueya, T Yuasa, H Chaen, Y Horizoe, K Tanaka, K Takasaki, N Mizukami, A Kisanuki, M Ohishi, Right ventricular end diastolic wall stress correlates with plasma B-type natriuretic peptide level in patients with pulmonary hypertension, Eoropean Society of Cardiology Congress, 2014年8月(Barcelona, Spain).
9. 平野和恵, 齊藤直裕, 大竹都, 千葉恵子, 檜柑富貴子, 坂本岳志, 日下部明彦, 訪問看護師からみた在宅における医療用麻薬の持続注射の管理上の課題, 第19回日本緩和医療学会, 2014年6月(兵庫)
10. 日隈利香, 日隈正守, 職員間ハラスメント問題に関する看護職の認識-ハラスメント防止研修後のアンケート調査結果から見てきたもの, 第45回日本看護学会 精神看護, 2014年10月(松本市)
11. 日隈利香, 職員間ハラスメントが医療・福祉機関に勤務する看護師に及ぼす影響, 日本社会福祉学会第62回秋季大会, 2014年11月(東京都)
12. 久松美佐子, 前田則子, 荒井春生, 植田麻実, 精神科病棟でがんを併発した統合失調症患者の看取り(第1報)看護師の戸惑いに影響する要因の探究, 第38回死の臨床研究会, 2014年11月(大分)
13. 前田則子, 久松美佐子, 植田麻実, 荒井春生, 精神科病棟でがんを併発した統合失調症患者の看取り(第2報)緩和ケアを促進する要因の探究, 第38回死の臨床研究会, 2014年11月(大分)
14. 荒井春生, 久松美佐子, 精神科病院における看取りの臨床的意義. 企画セミナー, 第21回日本精神科看護学術集会専門, 2014年9月(鹿児島)
15. 江口恵子, 堤由美子, 谷川智子, 宮園きよ子, 中重敬子, 上別府昌子, 新人看護職員研修における実地指導者の基本的課題とその達成度調査票の開発, 第18回日本看護管理学会学術集会, 2014年8月(愛媛)

D. その他

1) 講演

1. 木佐貫彰: 心 Fabry 病の心エコー図所見. 日本超音波医学会第13回九州地方会講習会教育講演循環器分野, 福岡市, 2014.9.21
2. 丹羽さよ子: 看護研究のすすめ方. 公益社団法人いちょうの樹 横山病院看護部研修会, 鹿児島市, 2014.6.19
3. 丹羽さよ子: 看護研究. 社団法人鹿児島共済会南風病院看護部研修, 鹿児島市, 2014.8.27, 9.3
4. 丹羽さよ子: リハビリテーションを目指すケアとは. 鹿児島大学医学部保健学科公開講座リハビリテーションを目指すケア - 最期までその人らしさを支える -, 2014.9.27

業績目録

5. 丹羽さよ子：老いとは何か 老年期のこころとからだ . 介護に関するセミナー，鹿児島大学男女共同参画推進センター，2014.10.28
 6. 丹羽さよ子：「教育課程（老年看護）」平成26年度実習指導者講習会．鹿児島県看護協会，鹿児島市，2015.1.13
 7. 丹羽さよ子：看護研究を深めよう看護実践を．鹿児島県保健看護研究学会，鹿児島市，2015.1.23
 8. 丹羽さよ子：脳卒中リハビリテーション看護概論．脳卒中リハビリテーション看護研修会，鹿児島県看護協会，鹿児島市，2015.2.12
 9. 丹羽さよ子：看護研究指導．社団法人鹿児島共済会南風病院看護部，鹿児島市，毎月1回
 10. 丹羽さよ子：看護研究発表会講評．鹿児島県リハビリテーション看護研究会，鹿児島市，2015.1.10
 11. 堤由美子：がん患者の心の軌跡-研究成果を臨床に活かすために ，鹿児島がん看護研究会，鹿児島市，2014.1.25
 12. 堤由美子：メンタルヘルスマネジメント，鹿児島県新人看護職員研修実地指導者研修会，鹿児島市，2014.1.18 & 2.7
 13. 堤由美子：管理者としてのスタッフのストレスマネジメント，日本精神科看護技術協会鹿児島県支部研修会，鹿児島市，2014.4.26
 14. 堤由美子：効果的な新人指導のためのストレスマネジメント，国立病院機構鹿児島医療センター看護部研修会，鹿児島市，2014.5.23
 15. 堤由美子：看護研究の基礎 研究の進め方と研究方法，鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会,鹿児島市，2014.6.7
 16. 堤由美子：看護研究の基礎 推測統計の基礎,鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会．鹿児島市．2014.7.5
 17. 堤由美子：ストレスマネジメントのできる看護師の育成，鹿児島県新人職員卒後研修教育担当者研修，鹿児島市，2014.7.17
 18. 堤由美子：看護研究の基礎 倫理的配慮の仕方と研究の発表の仕方，鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会．鹿児島市．2014.7.26
 19. 堤由美子：危機的状態の患者・家族の看護，慈愛会今村病院・分院・谷山病院看護部研修会，2014.8.2
 20. 堤由美子：人材育成の基礎知識，日本看護協会鹿児島県支部ファーストレベル研修会，2014.8.29&9.1
 21. 堤由美子：ALS 患者の障害受容と患者家族の精神ケア，鹿児島大学医学部保健学科公開講座，鹿児島市，2014.8.30
 22. 堤由美子：第21回日本精神科看護学術集会 座長，鹿児島市，2014.9.6
 23. 堤由美子：心の病いと看護，社会福祉法人鹿児島いのちの電話公開講座，鹿児島市，2014.9.11
 24. 堤由美子：がん患者の心の軌跡に寄り添うケアを求めて，鹿児島医療センターエキスパートナース研修会，鹿児島市，2014.9.22
 25. 堤由美子：看護研究のまとめ方，日本精神看護技術協会鹿児島県支部研修会，鹿児島市民文化ホール.2014.11.11
 26. 堤由美子：喪失・悲嘆，在宅医療・ターミナルケア人材育成事業 エンド・オブ・ライフ研修会，鹿児島市，2014.12.14
 27. 堤由美子：看護論 対人関係理論，鹿児島県実習指導者講習会，鹿児島市，2014.12.15 & 16
- 2) 学会活動
1. 清水佐智子，シンポジウム 卒前教育の課題：看護学生への緩和ケア教育，第19回日本緩和医療学会学術集会，2014年6月（神戸）
 2. 清水佐智子，北得美佐子，宇多雅，岸野恵，交流セッション 死を教えることを恐れていませんか？最期まで患者に寄り添える看護者の育成をめざして，日本看護学教育学会第24回学術集会，2014年8月（千葉）
- 3) 各種報告書
1. 日隈利香，保健医療福祉施設における職員間暴力防止プログラムの開発・導入に関する研究，平成24年度科研費補助金実績報告書，2014.
 2. 富吉奈美子，高祖由美，上野美津子，日向みさ子，帖佐成美，谷山正子，日隈利香，赤崎えり子，鹿児島県内の訪問看護ステーションにおける看護の実態調査，鹿児島県看護協会平成25年度職能委員会調査報告書，7-15,2014.

業績目録

〔地域看護・看護情報学講座〕

A. 著書

1. 兒玉慎平, 波多野浩道, エssenシャル看護情報学第2版(第7章1-1 地域看護活動における情報の活用, 第7章1-2 遠隔保健), 医歯薬出版株式会社, pp.167-178 (2014).

B. 論文

1. 雨宮有子, 細谷紀子, 大光房枝, 丸谷美紀, 佐藤紀子, 市町村における新人保健師現任教育上のニーズ(第1報) - 就職1年後の時点での保健師活動実践能力達成度とそれに関わる経験, 千葉県立保健医療大学紀要, Vol.5, pp.41-48 (2014).
2. 細谷紀子, 雨宮有子, 大光房枝, 丸谷美紀, 佐藤紀子, 市町村における新人保健師現任教育上のニーズ(第2報) - 管理的立場からみた現任教育体制の現状と工夫に基づく検討, 千葉県立保健医療大学紀要, Vol.5, pp.49-58 (2014).

C. 学会発表

1. 兒玉慎平, 病棟の患者積極性の看護師による評価の検討, 第4回日本看護評価学会学術集会, 2014年 3月 (東京).
2. 大山 亜耶, 森隆子, 波多野浩道, K島の女性及び地域にとって所属集団「婦人会」がもつ意味, 鹿児島県公衆衛生学会, 2014年 5月 (鹿児島).
3. 波多野浩道, 第1期-離島実習を振り返って, 鹿児島農村医学会, 2014年 8月 (鹿児島市).
4. 丸谷美紀, 嶋澤順子, 細谷紀子, 雨宮有子, 佐藤紀子, 大澤真奈美, 田村須賀子, 宮崎美砂子, 生活習慣病予防のポピュレーションアプローチに見られる文化的看護~ベッドタウンにおける初年度調査より, 第17回日本地域看護学会学術集会, 2014年 8月 (岡山).
5. 佐藤紀子, 細谷紀子, 雨宮有子, 丸谷美紀ほか7名, 高齢者のエンパワメント支援指針を活用した介護予防事業従事者の認識・行動の変化, 第17回日本地域看護学会学術集会, 2014, 8月 (岡山).
6. 雨宮有子, 佐藤紀子, 細谷紀子, 丸谷美紀, 市町村における新人保健師現任教育上のニーズ-管理的立場にある者が認識している新人保健師の成長と支援体制の工夫, 第20回千葉看護学会, 2014年 9月 (千葉).
7. 森隆子, 兒玉慎平, 波多野浩道, へき地・島嶼における創造的な看護実践プロセスを生成する要因の探索, 日本島嶼学会2014年次五島大会, 2014年 9月 (長崎).
8. 白石けい子, 江口小百合, 新村初美, 板井陽子, 上村恵, 西帯野智代, 中山栄子, 兒玉慎平, 看護師の接遇のための意識尺度の開発, 第45回日本看護学会:看護管理, 2014年 9月 (宮崎).
9. 寺前知沙, 内山夕岐, 有川理恵, 栗木聖子, 田中裕美, 兒玉慎平, 脳神経外科術後せん妄と安全用具使用状況の現状調査, 第45回日本看護学会:急性期看護, 2014年 10月 (神奈川).
10. 丸谷美紀, 細谷紀子, 雨宮有子, 大澤真奈美, 嶋澤順子, 稲留直子, 田村須賀子, 生活習慣病予防のポピュレーションアプローチに見られる文化を考慮した保健師の援助1, 第73回日本公衆衛生学会, 2014年 11月 (栃木).
11. 大澤真奈美, 丸谷美紀, 細谷紀子, 雨宮有子, 嶋澤順子, 稲留直子, 田村須賀子, 生活習慣病予防のポピュレーションアプローチに見られる文化を考慮した保健師の援助2, 第73回日本公衆衛生学会, 2014年 11月 (栃木).
12. 雨宮有子, 丸谷美紀, 細谷紀子, 大澤真奈美, 嶋澤順子, 稲留直子, 田村須賀子, 生活習慣病予防のポピュレーションアプローチに見られる文化を考慮した保健師の援助3, 第73回日本公衆衛生学会, 2014年 11月 (栃木).
13. 佐藤紀子, 細谷紀子, 雨宮有子, 丸谷美紀ほか7名, 高齢者のエンパワメント支援指針を活用した介護予防事業参加高齢者の変化 第1報, 第73回日本公衆衛生学会, 2014年 11月 (栃木).
14. 細谷紀子, 佐藤紀子, 雨宮有子, 丸谷美紀ほか7名, 高齢者のエンパワメント支援指針を活用した介護予防事業参加高齢者の変化 第2報, 第73回日本公衆衛生学会, 2014年 11月 (栃木).

D. その他

1) 寄稿

1. 森隆子, 島嶼に働く看護職の軌跡をたどりたい - その生き様に惹かれて, 月刊地域保健, Vol.45, No.4, pp.52-55 (2014).
2. 森隆子, 島嶼学会をゆく - 高知の旅 -, 日本島嶼学会ニュースレター, Vol.45, pp.3-4 (2014).
3. 森隆子, フィールドこぼれ話「良い教育がないと、良い実践家にはなれない、は甘え」, 島嶼研だより, Vol. 67, No.9 (2014).

業績目録

2) 講演

1. 兒玉慎平, 稻留直子, 比較の重要性とアンケート作成の注意点, 収集した情報をどのように分析するか, 結果と考察のまとめ方, 国立指宿医療センター看護部研修, 2014年5月28日, 2014年7月30日, 2014年10月30日 (指宿).
2. 丸谷美紀, 平成26年度鹿児島大学病院看護部キャリアパス, 地域看護コース公開講座「地域での暮らしを支える看護 対象の生活の文脈に即したコンフォートケア」2014年7月12日 (鹿児島).
3. 兒玉慎平, 情報テクノロジー (情報検索), 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習, 2014年8月20日 (鹿児島).

3) その他

1. 森隆子, 平成25年度地域保健従事者教育推進事業における新任保健師の臨地研修報告会アドバイザー, 2014年3月3日 (鹿児島).
2. 兒玉慎平, 第4回日本看護評価学会学術集会, 一般演題 (口演) 第1群 教育・キャリア開発 座長, 2014年3月4日 (東京).
3. 丸谷美紀, 国立大学保健医療学系代表者協議会看護学分会総会, 講演演者文部科学省看護教育専門官齊藤しのぶ先生の招聘及び全体運営の補助, 2014年 5月31日 (鹿児島).
4. 丸谷美紀, 全国保健師教育機関協議会総会にて議題の審議, 2014年6月7日 (東京).
5. 丸谷美紀, 全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会にて議題の審議, 2014年8月7日・8日
6. 丸谷美紀, 現代 GP 申請に関わる計画関与 (2014年5月) 及びFD講演会の実施 (2014年11月)

[母性・小児看護学講座]

A. 著 書

1. 中尾優子. お悩み解決 Q&A 看護過程 (母子看護学実習編 産後の乳房について), 看護学生, メヂカルフレンド社, 東京, p32-33, 2014.1
2. 武井修治. 小児リウマチ性疾患. 標準小児科学(8版), 医学書院, 東京, p258-277, 2014.1
3. 下敷領須美子. 性暴力. 性の健康と相談のためのガイドブック. 中央法規. 東京. p54-62, 2014.4
4. 武井修治. 小児膠原病の現在とこれから. 子どもの膠原病ハンドブック. 9-27, 全国膠原病友の会, 東京. 2014.3
5. 武井修治. 小児膠原病. 小児慢性疾患支援マニュアル(改訂), p108-112, 東京書籍, 東京. 2014.4
6. 小西恵美子, 山下早苗: 倫理的意思決定のステップと事例検討. 看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ, 改定第2版, 南江堂, 東京, p125-136, 2014.12.

B. 論 文

1. Koike T, Harigai M, Inokuma S, Ishiguro N, Ryu J, Takeuchi T, Takei S, Tanaka Y, Sano Y, Yaguramaki H, Yamanaka H. Effectiveness and safety with tocilizumab: Postmarketing surveillance of 7901 rheumatoid arthritis patients in Japan. J Rheumatol 41(1): 15-23. 2014.1.
2. 武井修治. 小児全身性エリテマトーデス. 腎と透析, 76(1):60-64. 2014.1.
3. 垣口恵美, 寺崎成美, 森藤香奈子, 山本直子, 中尾優子, 田中初美, 土居美智子, 荒木美幸. NICUに入院経験のある出生体重児の母親が肯定的な感情を抱くきっかけ 保健学研究26: 7-13, 2014.2.
4. 中尾優子, 森藤香奈子, 荒木美幸, 佐々木規子, 山本直子, 滝川由香里. 小児看護学におけるディベート学習の導入と評価. 保健学研究26: 47-51, 2014.2.
5. 山下早苗, 大迫由紀: 小児看護における倫理教育, 鹿児島大学医学部保健学紀要, 24(1): 1-5, 2014.3.
6. 武井修治. 小児皮膚筋炎 診断と治療. 日本小児皮膚科学会誌33(1):35-43. 2014.2.
7. 福岡美和, 下敷領須美子: 離島で働く助産師のやりがいと困難感 A島での調査を基に, 日本助産学会誌27(3):139, 2014.3.
8. 若松美貴代, 高田久美子, 井上尚美, 下敷領須美子, 吉留厚子. A県における看護師の大学院への進学ニーズに関する調査. 鹿児島大学医学部保健学科紀要24(1): 7-12, 2014.3.
9. 高田久美子, 若松美貴代, 吉留厚子, 下敷領須美子, 井上尚美. A県における助産師の大学院進学に対する意識. 鹿児島大学医学部保健学科紀要 24(1): 13-17, 2014.3.

業績目録

10. 下敷領須美子. インドネシア国におけるピアリーダー養成活動, 思春期学32(1): 57-63, 2014.3
11. Ravelli A, Schneider R, Weitzman S, Devlin C, Daimaru K, Yokota S, Takei S, De Benedetti F. A56:macrophage activation syndrome in patients with systemic juvenile idiopathic arthritis treated with tocilizumab. *Arthritis Rheumatol*, Epub ahead of print. 2014.3.
12. 武井修治. 現在のSLE診療. *リウマチ科*, 51(3): 640-643. 2014.3
13. Yokota S, Imagawa T, Mori M, Miyamae T, Takei S, Iwata N, Umebayashi H, Murata T, Miyoshi M, Tomiita M, Nishimoto N, Kishimoto T. Long-term safety and effectiveness of anti-interleukin 6 recetor monoclonal antibody,tocilizumab, in patients with systemic juvenile idiopathic arthritis in Japan. *J Rheumatol*, 41(4) : 759-767. 2014.4.
14. 武井修治. 小児皮膚筋炎の診断と治療. *小児科*, 55(4) : 449-457. 2014.4.
15. Ikeda K, Kambe N, Takei S, Nakano T, Inoue Y, Tomiita M, Oyake N, Satoh T, Yamatou T, Kubota T, Okafuji I, Kanazawa N, Nishikomori R, Shimojo N, Matsue H, Nakajima H. Ultrasonographic assessment reveals detailed distribution of synovial inflammation in Blau syndrome. *Arthritis Res Ther*, 16(2) Epub ahead of print. 2014.4.
16. 武井修治. 全身性エリテマトーデス. *小児科診療*, 77(増):294-296. 2014.4.
17. 武井修治. 最新リウマチ学. 若年性特発性関節炎. *日本臨床*, 72(増3): 399-403. 2014.4.
18. Ohnishi M, Leshamari S, Hagane K, Matso S, Mine Y, Yuki H, Nakao Y, Oishi K. Pregnancy and childbirth experiences:a comparion of Japan and Tanzania in different periods. *民族衛生*80(3): 151-164 , 2014.5.
19. 根路銘安仁, 古城 圭馴美, 二宮 由美子, 吉重 道子, 石川 珠代, 小木曾 綾乃, 武井 修治, 河野 嘉文HTLV-I陽性妊婦が選択した栄養法は実施できるのか. *小児保健研究*, 73(3):492-497.2014.5.
20. 田淵康子, 吉留厚子, 伴信彦, 草間朋子. 現代女性の月経血量および月経随伴症状に関する研究. 47(3):248-255, 2014.6
21. Yasumura J, Wago M, Okada S, Nishikomori R, Takei S, Kobayashi M. A 2-year-old Japanese girl with TNF receptor-associated periodic syndrome: A case report of the youngest diagnosed proband in Japan. *Mod Rheumatol*, Epub ahead of print. 2014.6.
22. 江口郁, 野村 裕一, 久保田 知洋, 山遠 剛, 井之上 寿美, 丸山 慎介, 西川 拓朗, 和田 昭宏, 河野 嘉文, 武井 修治. 川崎病の診断基準を満たした若年性特発性関節炎の1例 インターロイキン18値測定の有用性. *小児科臨床*, 67(7):1173-1176. 2014.7.
23. 武井修治. 自然免疫と適応免疫のクロストーク SLEにおける自然免疫の機能不全. *臨床とウイルス*, 42(3):89-96. 2014.7.
24. Nerome Y, Kojoy K, Ninomiya Y, Ishikawa T, Ogiso A, Takei S, Kawano Y, Douchi T, Takezaki T, Owaki T. Current human T-cell lymphotropic virus type 1 mother-to-child transmission prevention status in Kagoshima. *Pediatr Int*, 56(4):640-643. 2014.8.
24. 武井修治. 生物学的製剤の適応があるリウマチ類縁疾患 - 若年性特発性関節炎. *Rheumatology Clinical Research* 3(2): 83-88. 2014.8.
26. 武井修治. 免疫抑制薬の臨床応用 若年性特発性関節炎(JIA). *炎症と免疫*, 22(5):398-402. 2014.8.
27. 山口京子, 山下早苗, 長澤芳, 石神えり: 小児病棟における看護師のグリーフケアを目的としたカンファレンス. *小児がん看護*, 9(1):48-54, 2014.9.
28. 武井修治. 若年性特発性関節炎 診療の進歩. *リウマチ科*, 52(3) : 332-339. 2014.9.
29. Davi S, Minoia F, Pistorio A, Home A, Consolaro A, Rosina S, Bovis F, Cimaz R, Gamir ML, Ilowite NT, Kone-Paut I, Feitosa de Oliveira SK, McCurdy D, Silva CA, Sztajn bok F, Tsitsami E, Unsal E, Weiss JE, Wulffraat N, Abinun M, Aggarwal A, Apaz MT, Astigarraga I, Corona F, Cuttica R, D'Angelo G, Eisenstein EM, Hashad S, Lepore L, Mulaosmanovic V, Nielsen S, Prahalad S, Rigante D, Stanevicha V, Sterba G, Susic G, Takei S, Trauzeddel R, Zletni M, Ruperto N, Martini A, Cron RQ, Ravelli A; Paediatric Rheumatology International Trials Organisation, the Childhood Arthritis and Rheumatology Research Alliance, the Pediatric Rheumatology Collaborative Study Group, and the Histiocyte Society. Performance of current guidelines for diagnosis of macrophage activation syndrome complicating systemic juvenile idiopathic arthritis. *Arthritis Rheumatol*, 66(10): 2871-2880. 2014.10.
30. 武井修治. 小児リウマチ性疾患に対する生物学的製剤. *日本小児皮膚科学会雑誌*, 33(3): 213-220. 2014.10.
31. Kobayashi I, Takezaki S, Kobayashi N, Iwata N, Mori M, Nagai K, Nakano N, Miyoshi M, Kinjo N, Murata T, Masunaga K, Umebayashi H, Imagawa T, Agematsu K, Sato S, Kuwana M, Yamada M, Takei S, Yokota S, Koike K, Ariga T. Clinical and laboratory features of fatal rapidly progressive interstitial lung diseases associated with juvenile dermatomyositis. *Rheumatology (Oxford)*, Epub ahead of print. 2014.10.
32. Kobayashi I, Mori M, Yamaguchi KI, Ito S, Iwata N, Masunaga K, Shimojo N, Ariga T, Okada K, Takei S. Pediatric Rheumatology Association of Japan recommendation for vaccination in pediatric rheumatic diseases. *Mod Rheumatol*, Epub ahead of print. 2014.11.

業績目録

C. 学会発表

1. 新垣由以子, 井手美聡, 中尾優子. 母側・児側の乳離れ行動に関連する要因. 第28回日本助産学会学術集会 長崎2014.3.22 23.
2. 井手美聡, 新垣由以子, 坪田幸子, 赤星衣美, 中尾優子. 産褥早期における直接授乳前後の乳腺組織の厚さと哺乳量の関連超音波画像を用いて. 第28回日本助産学会学術集会 長崎2014.3.22 23
3. 福岡美和, 下敷領須美子: 離島で働く助産師のやりがいと困難感 A島での調査を基に, 第28回日本助産学会, 長崎市, 2014.3.23
4. De Benedetti F, Schneider R, Weitzman S, Devlin C, Daimaru K, Yokota S, Takei S, Ravelli A. Macrophage activation syndrome in patients with systemic Juvenile Idiopathic Arthritis treated with Tocilizumab. Pediatric Rheumatology Symposium (PRYSM). Orlando, Florida, USA 2014.4
5. 武井修治, 山遠 剛, 久保田 知洋, 野中 由紀子, 神戸 直知, 池田 啓. 画像を用いた自己炎症性疾患の関節炎病態の定量的解析. 第117回日本小児科学会. 名古屋市2014.4.11-13
6. 根路銘安仁, 古城 圭馴美, 二宮 由美子, 吉重 道子, 石川 珠代, 小木曾 綾乃, 武井 修治, 河野 嘉文. HTLV-1陽性妊婦が決定した栄養法は実施できるのか? 第117回日本小児科学会. 名古屋市2014.4.11-13
7. 久保田知洋, 山遠 剛, 野中 由希子, 赤池 治美, 嶽崎 智子, 今中 啓之, 武井 修治. 治療抵抗性全身型JIAの経過中に間質性肺炎をきたした3症例. 第58回日本リウマチ学会. 東京都 2014.4.24-26
8. 北村愛, 下敷領須美子, 谷口光代, 麦田すみ子, 森律子, 船迫美穂, 俊彩: 鹿児島県の産科医療施設におけるHTLV-1陽性妊産婦への支援の現状, 第70回日本助産師学会, 福岡市, 2014.5.24
9. 山下早苗, 大迫由紀: 小児看護学実習における倫理カンファレンスの導入. 日本看護倫理学会第7回年次大会, 名古屋市, 2014.5.25,
10. 小西恵美子, 山下早苗: 看護師の優しさと倫理的責務. 日本看護倫理学会第7回年次大会, 名古屋市, 2014.5.25,
11. 河野梢子, 中村充浩, 鈴木真理子, 八尋道子, 山下早苗, 前田樹海, 小西恵美子: 臨地実習は辛い? 楽しい? - みんながhappyになる実習は存在するのか. 日本看護倫理学会第7回年次大会, 名古屋市, 2014.5.25,
12. 久保田知洋, 山遠 剛, 野中由希子, 赤池治美, 嶽崎智子, 今中啓之, 武井修治. 生物学的製剤が有効だった高安血管炎患者の臨床経過. 第6回KOCs小児リウマチ研究会. 福岡市2014.5.31
13. Yoshidome A, Hayashi I. Comparison of triglyceride and calcium levels before and after lactation and breast massage, ICM 30th Prague, Czech Republic, 2014. 5.31-6.5.
14. Nakao Y, Shiomi M, Yamaguchi H. Effects of horse oil compresses applied to the nipple and areola during pregnancy, ICM 30th Triennial Congress Prague 2014.6.1-5.
15. 永迫博信, 久保田 知洋, 武井 修治, 河野 嘉文. 尿中インターロイキン6(uIL-6)を用いたループス腎炎の評価. 第49回日本小児腎臓病学会. 秋田市2014.6.5-7
16. 石走知子, 若松美貴代, 有倉巳幸, 田中裕子, 松浦賢長, 竹林桂子. 保護者の子宮がん健診・子宮頸がん予防のワクチン接種についての情報提供に関する調査. 第33回日本思春期学会総会・学術集会 つくば市 2014.8.30-31.
17. 石走知子, 若松美貴代, 有倉巳幸, 田中裕子, 松浦賢長, 竹林桂子: 大学生女子の子宮がん検診・子宮頸がん予防のワクチン接種についての情報提供に関する調査. 第33回日本思春期学会総会・学術集会 つくば市2014.8.30-31.
18. 石走知子, 若松美貴代, 有倉巳幸, 田中裕子, 松浦賢長, 竹林桂子. 大学生男子の子宮がん検診・子宮頸がん予防のワクチン接種についてのパートナーへの推奨に関する調査, 第33回日本思春期学会総会・学術集会 つくば市 2014.8.30-31.
19. 今井春菜, 林猪都子, 猪俣理恵, 植田みゆき, 吉留厚子. 女子看護大学生における子宮頸がん検診受診行動に関する要因の検討. 第55回日本母性衛生学会学術総会. 幕張 2014.9.13-14
20. 谷口光代, 下敷領須美子: A島の島外母体搬送の現状, 第55回日本母性衛生学会, 千葉市, 2014.9.14
21. 中川権史, 西小森 隆太, 井澤 和司, 河合 朋樹, 八角 高裕, 河合 利尚, 梅林 宏明, 武井 修治, 小林 法元, 小原 収, Gonzalez-Roca Eva, Arostegui Juan I., 平家 俊男. 第42回日本臨床免疫学会 東京都 2014.9.25-27
22. 武井修治, 久保田知洋. SLEの病因 自然免疫と自己免疫の接点. 第24回日本小児リウマチ学会. 仙台市2014.10.3-5
23. 久保田知洋, 山遠 剛, 野中由希子, 赤池治美, 嶽崎智子, 今中啓之, 武井修治. 多関節型JIAにおける生物学的製剤の継続性予測因子に関する検討. 第24回日本小児リウマチ学会. 仙台市2014.10.3-5
24. 野中由希子, 赤池治美, 久保田知洋, 山遠 剛, 嶽崎智子, 根路銘安仁, 今中啓之, 武井修治. 生物学的製剤によりJIA患者の低身長は改善する(第2報). 第24回日本小児リウマチ学会. 仙台市2014.10.3-5

業績目録

25. 山遠 剛, 長倉智和, 脇口宏之, 久保田知洋, 山崎雄一, 野中由希子, 赤池治美, 根路銘安仁, 嶽崎智子, 今中啓之, 銚之原昌, 武井修治, 河野嘉文. 第24回日本小児リウマチ学会. 仙台市2014.10.3-5
26. De Benedetti F, Schneider R, Weitzman S, Devlin C, Daimaru K, Yokota S, Takei S, Ravelli A. Macrophage activation syndrome in patients with systemic Juvenile Idiopathic Arthritis treated with Tocilizumab. 30th Annual Meeting of the Histiocyte Society Tronto, Ontario Canada. 2014 10
27. Ikeda K, Kambe N, Takei S, Nakano T, Inoue Y, Tomiita M, Oyake N Satoh T, Yamatou T, Kubota T, Okafuji I, Kanazawa N, Nishikomori R, Shimojo N, Matsue H, Nakajima H. Detailed anatomical distribution of synovial inflammation revealed by ultrasound in patients with Blau syndrome. American College of Rheumatology Scientific Annual Meeting, Boston, MA, USA, 2014.11.16
28. Kubota T, Takei S, Yamatou T, Nagakura T, Imanaka H, Nonaka Y, Takezaki T, Akaike H, Matsuura M. Can DAS 28 at 3 months after the 1st biologic therapy predict subsequent sustainable clinical remission in polyarticular Juvenile Idiopathic Arthritis patients? American College of Rheumatology Scientific Annual Meeting, Boston, MA, USA, 2014.11.17
29. Nagakura T, Yamatou T, Kubota T, Wakiguchi H, Yamasaki Y, Nonaka Y, Takezaki T, Akaike H, Nerome Y, Imanaka H, Takei S. TNF inhibitors provide long-term clinical benefits in 6 patients with early-onset sarcoidosis. American College of Rheumatology Scientific Annual Meeting, Boston, MA, USA, 2014.11.18

D. その他

1) 報告書

1. 山下早苗: 小児がんの子どもへの病名病状説明 (親の体験談, 子どもの体験談, 小児科医の考え方, 説明の様子) DVD. 小児がんの子どもへの病名病状説明に対して親が抱く不確かさへの看護介入, 制作会社 MIL BOARD, 2014.3.
2. 武井修治, 久保田知洋, 山遠剛, 山崎雄一, 野中由希子. 自己炎症疾患と自己免疫疾患の連続性に関する研究-小児SLE患児血中の soluble TLRs と疾患活動性との関連. 自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立. 平成25年度総括・分担研究報告書175-180, 2014.3.
3. 武井修治. 子どものリウマチ - 若年性特発性関節炎. 健康教室, 763(6):84-86. 2014.6.
4. 吉留厚子. 鹿児島大学大学院保健学研究科 (博士前期課程) での助産師養成. 鹿児島市医報53(8) : 18-20, 2014.7
5. 武井修治. 家族性地中海熱. 健43(6):10-12. 2014.9.

2) 講演

1. 下敷領須美子: 健やかな妊娠・出産のための思春期保健からの取組み, H25年度 名瀬保健所健やかな妊娠・出産のための関係者連絡会, 奄美会館, 25名, 奄美市, 2014.1.10
2. 吉留厚子. 看護研究指導. 鹿児島県立大島病院. 奄美市, 2014. 1.18
3. 武井修治. 小児膠原病の現在とこれから. 全国膠原病友の会 - 小児膠原病部会. 京都キャンパスプラザ. 京都市2014.1.26
4. 下敷領須美子: 互いに尊重し合うパートナーシップ, 鹿児島市デートDV講演会, 志学館大学, 鹿児島市, 2014.2.3
5. 吉留厚子. 平成25年度潜在助産師再就業支援セミナー. 近年の母子保健施策・法律. 鹿児島県看護協会. 鹿児島市, 2014.2.4
6. 下敷領須美子: 下敷領須美子: 大切な人と出会い豊かな人生を送るために, 平成25年度西之表市思春期健康教育, 種子島高等学校, 150名, 西之表市, 2014.2.6
7. 井上尚美. 生命の誕生. 鹿児島市立西陵小学校性教育推進講演会. 鹿児島市, 2014.1.29
8. 下敷領須美子: 対等で楽しいデートのための準備講座 すてきな人生を送るために, 鹿児島市デートDV講演会, 鹿児島市立郡山中学校, 鹿児島市, 2014.2.21
9. 井上尚美. “こころ” と “いのち” を育む大人への道. 伊佐市大口南中学校性教育講演会. 伊佐市, 2014.2.26
9. 井上尚美. 心と心で育まれる性教育. 伊佐市大口南中学校保護者向け性教育講話. 伊佐市, 2014.2.26
10. 下敷領須美子: いのちを育む性について考えよう, 総合的な学習「いのちの学習」, 波野中学校, 55名, 肝付町, 2014.2.27
11. 下敷領須美子: 性暴力の正しい理解と支援, 平成25年度自殺対策事業に伴うスタッフ学習会, 鹿屋市保健相談センター, 50名, 鹿屋市, 2014.2.27
12. 武井修治. 小児の関節炎. 若年性特発性関節炎の鑑別と治療. 三愛クリニック勉強会. 鹿児島市2014.2.28
13. 高田久美子. 妊娠期における最新のエビデンス, 緊急時の対応, 潜在助産師再就職支援セミナー, 鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2014.3.1

業績目録

14. 若松美貴代. 地域に繋げる支援, 産後うつ・虐待. 平成25年度潜在助産師再就職支援セミナー. 鹿児島県看護協会. 鹿児島市, 2014.3.1
15. 下敷領須美子: DVの理解と被害者支援について, 霧島市DV被害者支援担当者研修, 国分公民館3階大研修室, 25名, 霧島市, 2014.3.27
16. 下敷領須美子: DVの本質と被害者の相談対応, 鹿児島県配偶者暴力相談支援センター等の新任相談員研修, かがしま県民交流センター大研修室, 20名, 2014.4.24
17. 武井修治. 子どもの病気と事故. 育児サポーター研修会. サンエール鹿児島. 鹿児島市2014.5.27
18. 山下早苗: 「小児看護と家族支援」. 鹿児島県看護協会主催研修会, 鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2014.5.31.
19. 山下早苗: 子どもの病気と予防 - 感染症と食物アレルギー -. めぐみ保育園, 鹿児島市, 2014.6.3.
20. 吉留厚子. 看護研究指導. 鹿児島県立大島病院. 奄美市, 2014. 6.14
21. 吉留厚子. 看護部看護教育 看護研究研修. 公益社団法人昭和会 今給黎総合病院, 鹿児島市, 2014.6.24
22. 吉留厚子. 公開講座.看護研究の基礎および統計解析入門. 看護研究の基礎とプレゼンテーション. 鹿児島大学医学部保健学科. 鹿児島市, 2014.6.26
23. 井上尚美. 潜在助産師再就職支援セミナー報告. 公益社団法人鹿児島県看護協会主催鹿児島県のお産を守ろう第2弾. 鹿児島市, 2014.6.28
24. 山下早苗: 子どもの保健. 平成26年度保育士試験準備講習会, 鹿児島市, 2014.6.29.
25. 下敷領須美子: 楽しいデートのための準備講座 対等で互いを尊重するパートナーシップ , 鹿屋市男女共同参画推進研修会, 鹿屋市立大始良中学校, 鹿屋市, 2014.7.6
26. 武井修治. 小児膠原病の臨床. Advice conference. 鹿児島市2014.7.11
27. 井上尚美. こころのつながりを育む“いのち”今の自分が大切!. 肝付町立内之浦中観校生に関する指導講演会. 肝付町, 2014.7.14
27. 下敷領須美子: 思いがけない妊娠について事例検討, 平成26年度女性の健康相談従事者研修会, かがしま県民交流センター, 大研修室, 100名, 鹿児島市, 2014.7.18
28. 中尾優子: 看護研究における統計処理, 聖フランシスコ病院, 長崎市, 2014.8.5
29. 吉留厚子. 平成26年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程. 看護管理概説, 鹿児島県看護協会. 鹿児島市, 2014.8.19
30. 山下早苗: 実習指導案の活用と倫理カンファレンスの実際について. 鹿児島大学医学部歯学部附属病院看護部研修, 鹿児島市, 2014.8.21
31. 吉留厚子. 平成26年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程. レポートの書き方. 鹿児島県看護協会. 鹿児島市, 2014.9.3
32. 吉留厚子. 公開講座. 中堅助産師のためのステップアップ研修. リーダーシップ, 看護管理の基本. 鹿児島大学医学部保健学科. 鹿児島市, 2014.9.9
33. 中尾優子: 母乳育児に関して (基礎編) 中堅助産師のためのステップアップ研修, 鹿児島市, 2014.9.9
34. 吉留厚子. 公開講座. 中堅助産師のためのステップアップ研修. 助産外来・院内助産. 鹿児島大学医学部保健学科. 鹿児島市, 2014.9.10
35. 若松美貴代. 妊娠・分娩・産褥期にあるハイリスク女性の心理. 中堅助産師のためのステップアップ講座. 平成26年鹿児島大学医学部保健学科公開講座. 2014.9.10
36. 吉留厚子. 公開講座, 中堅助産師のためのステップアップ研修. 倫理的意思決定のプロセスの参画, 鹿児島大学医学部保健学科. 鹿児島市, 2014.9.25
37. 下敷領須美子・ピアカウンセラー: 互いを尊重し合うパートナーシップデートDVの被害者・加害者にならないためにー, 霧島市教育委員会人権セミナー ピアエデュケーションセッション1年生: 生命の大切さについて知ろう, 2年生: デートDVってなに? 3年生: 望まない妊娠を防ごう, 霧島高等学校, 360人, 霧島市, 2014.9.25
38. 吉留厚子. 新人助産師合同研修. 母乳栄養の基礎, 鹿児島県看護協会. 鹿児島市, 2014.9.27
39. 下敷領須美子: 男女交際のあり方・情報社会と性について, 平成26年度 学校への男女共同参画お届けセミナー , 鹿児島県立加世田常潤高等学校, 300人, 南さつま市, 2014.9.30
40. 吉留厚子. 助産師研修会. 助産に関する法律と記録, 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター. 那覇市, 2014.10.5
41. 井上尚美. 性教育を考えるととき~助産師としての立場から~. 平成26年度大崎町養護教諭部会研修会. 鹿児島市, 2014.10.8
42. 下敷領須美子: もし, 妊娠したら... 身体とところをしっかりと守って自分の人生をたいせつに , 種子島中学校, 3年生,

業績目録

西表市, 2014.10.17

43. 下敷領須美子: 付き合うってどういうこと? 中学生らしいつきあい方とは? 種子島中学校, 2年生, 西表市, 2014.10.17
44. 吉留厚子. 新人助産師合同研修. 助産倫理, 鹿児島県看護協会. 鹿児島市, 2014.10.18
45. 井上尚美. 大学模擬授業「看護・医療」分娩機転 赤ちゃんはまわりながら生まれてくる. 鹿児島県立国分高等学校出前授業, 2014.10.18
46. 山下早苗: 子どもの最善の利益を守るために. 日本医療保育学会 (九州・沖縄ブロック), 鹿児島市, 2014.10.19.
47. 中尾優子: 仕事と更年期, プラス介護・・・その時あなたは?, 鹿児島大学男女共同参画推進センター介護セミナー, 鹿児島市, 2014.10.21
48. 井上尚美. エイズを通して命を考える. 鹿児島市立吉野中学校保健教室・性教育, 鹿児島市, 2014.10.28
49. 吉留厚子. 出前授業. 鹿児島県立南高等学校. 鹿児島市, 2014.11.11
50. 下敷領須美子: 互いに尊重し合うパートナーシップ, 県立高山高等学校, 肝属町, 2014.11.11
51. 吉留厚子. 平成26年度潜在助産師再就業支援セミナー. 近年の母子保健施策・法律. 鹿児島県看護協会. 鹿児島市, 2014.11.12
53. 下敷領須美子: 平成26年度男女共同参画セミナー地域リーダー養成編, “男女”の多様性を考える, サンエール, 鹿児島市, 2014.11.12
54. 井上尚美. デートDV予防について. 鹿屋市男女共同参画推進室主催「性に関する講演会」. 鹿屋市, 2014.11.12
55. 高田久美子. 妊娠期における最新のエビデンス, 緊急時の対応, 潜在助産師再就職支援セミナー, 鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2014.11.12
56. 下敷領須美子: 対等で豊かなパートナーシップを育もう, 霧島教育委員会人権セミナー, 国分中央高等学校, 霧島市, 2014.11.17
57. 下敷領須美子: 子育てとジェンダー, NPO がじゅまるの家主催ママピア講演会, 徳之島中央公民館, 2014.11.22
58. 武井修治. 関節型 JIA (若年性特発性関節炎) の診断と治療. 第22回日本整形外科学会リウマチ研修会. 京王プラザホテル. 東京都2014.11.24
59. 下敷領須美子: 鹿児島県配偶者からの暴力対策研修会アドバイザー派遣事業, DVの理解を深める, 和泊町, 2014.11.25
60. 下敷領須美子: 鹿児島県配偶者からの暴力対策研修会アドバイザー派遣事業, DVの理解を深める, 知名町, 2014.11.25
61. 武井修治. 小児慢性特定疾病. 県医師会館. 鹿児島市2014.11.26
62. 下敷領須美子: HTLV-1母子感染予防, 鹿児島県HTLV-1対策講習会, 医師会館, 鹿児島市, 2014.11.26
63. 山口京子, 山下早苗: 実践報告を投稿して実践の知を広めよう! 臨床での実践知を「実践報告」として論文にまとめ投稿する意義とその執筆過程. 日本小児がん看護学会学術検討委員会主催, 第12回日本小児がん看護学会学術集会 学術交流セミナー, 岡山市, 2014.11.29.
64. 井上尚美. 「いのちの誕生」自分と人のいのちについて考える. 鹿児島市立皇徳寺中学校性に関する指導. 鹿児島市, 2014.12.2
65. 若松美貴代. 男女のつきあいについて考えてみよう. エイズ予防啓発事業. 鹿屋市鹿屋東中学校. 鹿屋市, 2014.12.2
66. 武井修治. 子どもの不慮の事故 現状と予防. 平成26年度母子保健推進研修会. 知覧文化会館. 南九州市2014.12.4
67. 井上尚美. 性と生について考えよう! 鹿児島市立山谷山北中学校性教育推進事業. 鹿児島市, 2014.12.10
68. 山下早苗: 小児慢性特定疾患をもち子どもの成長と親の関わり方. 鹿児島市保健所, 鹿児島市, 2014.12.11.
69. 山下早苗: 小児慢性特定疾患をもち子どもの成長と親の関わり方. 名瀬保健所, 奄美市, 2014.12.12.
70. 山下早苗: 小児看護の専門性 (倫理) - 小児看護におけるアセスメントと家族支援 -. 名瀬保健所, 奄美市, 2014.12.12.
71. 吉留厚子. 研究指導. 今給黎病院. 鹿児島市, 2014.12. 13
72. 下敷領須美子: 互いを尊重しあうパートナーシップ, 鹿児島県立中央高等学校, 鹿児島市, 2014.12.17
73. 吉留厚子. 助産師教育. 臨床指導者講習会. 鹿児島県看護協会. 鹿児島市, 2014.12.19

3) 報道・その他

1. 下敷領須美子: KYTホット!!かごしま「セーフコミュニティの平成27年度認証取得をめざして」デートDV 予防講演紹介, 2014.3.16
2. 下敷領須美子: 南日本リビング新聞社 リビング新聞 Vitamin People 「こうあるべきに縛られず子育てを楽しんでほしい」8月23日号, 2014.8.23

業績目録

3. 下敷領須美子, ピアカウンセラー: 高校生のためのピアサポーター養成講座, 鹿児島県男女共同参画センター主催, 平成26年度若者による暴力未然防止の活動支援事業, 鹿児島県民交流センター中研修室, 鹿児島市, 2014.12.14
4. かがしま県民交流センター「若者のためのピアカウンセリング事業」の共催. 相談窓口顧問: 下敷領須美子

[理学療法学専攻]

A. 著書

1. 第19章 頰椎の疾患 上位頰椎・頰髄損傷
米 和徳
今日の整形外科治療指針, 第7版, 医学書院 (印刷中)
2. 第19章 頰椎の疾患 中下位頰椎・頰髄損傷
米 和徳
今日の整形外科治療指針, 第7版, 医学書院 (印刷中)
3. 樋口逸郎
AMP deaminase 欠損症/筋プリン代謝異常症
代謝性ミオパチー pp. 228-231 2014年5月 診断と治療社
編集: 杉江秀夫, 福田冬季子, 西野一三, 古賀靖敏

B. 論文

1. 特発性側弯症手術における胸椎後弯の獲得と呼吸機能の改善について
山元拓哉, 永吉隆作, 河村一郎, 井尻幸成, 田邊 史, 榑松昌彦, 富永博之, 米 和徳, 小宮節郎
Journal of Spine Research 5(3): 250, 2014
2. BDI(Beck Depression Inventory)とJOABPEQの関与-うつ状態の場合術後成績が悪いのか?-
富永博之, 田邊 史, 榑松昌彦, 永吉隆作, 山元拓哉, 米 和徳, 小宮節郎
Journal of Spine Research 5(3): 471, 2014
3. The effect of force sensation on the ability to control muscle force during fatigue condition
Ryoji Kiyama, Masayuki Kawada, Ken Tokunaga, Akihiko Ohwatashi, Kiyohiro Fukudome, Kazunori Yone, Yoichi Yoshimotoa, Tadasu Ohshige and Tetsuo Maeda
Isokinetics and Exercise Science 22 (2014): 287-293
4. キアリ 型奇形と脊髄空洞症をともなう側弯症の検討
音羽 学, 富永博之, 榑松昌彦, 田邊 史, 永吉隆作, 山元拓哉, 井尻幸成, 米 和徳, 小宮節郎
整形外科と災害外科 63(3): 494-497, 2014
5. 感染性脊椎炎に対する経皮的椎弓根スクリューを用いた後方前方手術の治療経験
田邊 史, 井尻幸成, 山元拓哉, 永吉隆作, 榑松昌彦, 富永博之, 伊集院俊郎, 富村奈津子, 齋藤嘉信, 米 和徳, 小宮節郎
整形外科と災害外科 63(4): 749-752, 2014
6. 脊柱変形手術における経頭蓋電気刺激筋誘発電位の消失例の検討
山元拓哉, 永吉隆作, 田邊 史, 榑松昌彦, 富永博之, 佐久間大輔, 米 和徳, 小宮節郎
日本生体電気・物理刺激研究会誌28: 77, 2014
7. 医療従事者に対するロコモティブシンドロームの認知度調査 当院で実施したアンケート調査より
中辻 晋太郎, 松永 俊二, 米 和徳
運動器リハビリテーション25(2): 155, 2014
8. 慢性圧迫性脊髄症におけるオートファジーの関与
田邊 史, 瀬戸口啓夫, 米 和徳, 小宮節郎
日本整形外科学会誌88(8): S1400, 2014
9. 急性期脊髄損傷後の stem cell factor 投与によるアポトーシス抑制機序
甲斐 千尋, 松田 史代, 米 和徳
日本整形外科学会誌88(8): S1712, 2014

業績目録

10. Japanese 2011 nationwide survey on complications from spine surgery.
Imajo Y, Taguchi T, Yone K, Okawa A, Otani K, Ogata T, Ozawa H, Shimada Y, Neo M, Iguchi T. J Orthop Sci. 2014 Dec 5. [Epub ahead of print]
11. Chenga J, Morisaki H, Sugimoto N, Dohi A, Shintani T, Kimura E, Toyama K, Ikawa M, Okabe M, Higuchi I, Matsuo S, Kawai Y, Hisatome I, Sugama T, Holmesh EW, Morisaki T. Effect of isolated AMP deaminase deficiency on skeletal muscle function. Molecular Genetics and Metabolism Reports 1:51-59, 2014
12. Yuan J, Ando M, Higuchi I, Sakiyama Y, Matsuura E, Michizono K, Watanabe O, Nagano S, Inamori Y, Hashiguchi A, Higuchi Y, Yoshimura A, Takashima H. Partial deficiency of emerin caused by a splice site mutation in EMD. Intern Med 53:1563-1568, 2014
13. Yamashita S, Mori A, Nishida Y, Kurisaki R, Tawara N, Nishikami T, Misumi Y, Ueyama H, Imamura S, Higuchi Y, Hashiguchi A, Higuchi I, Morishita S, Yoshimura J, Uchino M, Takashima H, Tsuji S, Ando Y. Clinicopathological features of the first Asian family having vocal cord and pharyngeal weakness with distal myopathy due to a MATR3 mutation. Neuropathol Appl Neurobiol. 2014 Sep 4. [Epub ahead of print]
14. Akihiko Ohwatashi, Satoshi Ikeda, Katsuhiko Harada, Yurie Kamikawa, Akira Yoshida, Kazuhiro Inoue, Nobuhiko Yanagida, Kiyohiro Fukudome, Ryoji Kiyama, Tadasu Ohshige, Tetsuo Maeda. Temperature changes caused by the difference in the distance between the ultrasound transducer and bone during 1 MHz and 3 MHz continuous ultrasound - a phantom study -. Journal of the physical Therapy Science , Vol.27(1):205-208, 2015.
15. Ryoji Kiyama, Masayuki Kawada, Ken Tokunaga, Akihiko Ohwatashi, Kiyohiro Fukudome, Kazunori Yone, Yoichi Yoshimoto, Tadasu Ohshige, Tetsuo Maeda, The effect of force sensation on the ability to control muscle force during fatigue condition, Isokinetics and Exercise Science, Vol.22, No.4, pp.287-293 (2014).
16. The effect of force sensation on the ability to control muscle force during fatigue condition
Ryoji Kiyama, Masayuki Kawada, Ken Tokunaga, Akihiko Ohwatashi, Kiyohiro Fukudome, Kazunori Yone, Yoichi Yoshimoto, Tadasu Ohshige, Tetsuo Maeda Isokinetics and Exercise Science 22(4) : 287-293, 2014
17. Yoshida Y, Sakakima H, Matsuda F, Ikutomo M, Midkine in repair of the injured nervous system. Br J Pharmacol. 2014 : 171(4): 924-30
18. Ikutomo M, Sakakima H, Matsuda F, Yoshida Y, Midkine-deficient mice delayed degeneration and regeneration after skeletal muscle injury, Acta Histchem 2014, 116(2), 319-326
19. 丹羽さよ子, 田口朋子, 松田史代, 榎間春利, 森本典夫 : 地域在住高齢者の視機能と関連要因の検討. 鹿児島大学医学雑誌, 2014, 65 (2-3), 37-47
20. Kamimura A, Sakakima H, Tsutsumi F, Sunahara N. Preoperative predictors of ambulation ability at different time points after total hip arthroplasty in patients with osteoarthritis. Rehabil Res Pract. 2014;2014:861268

C. 学会発表

1. 脊柱変形手術における経頭蓋電気刺激誘発電位の消失例の検討
山元拓哉, 永吉隆作, 田邊 史, 榎松昌彦, 富永博之, 佐久間大輔, 米 和徳, 小宮節郎
第41回日本生体電気・物理刺激研究会, 平成26年4月5日, 横浜
2. 特発性側弯症手術における胸椎後弯の獲得と呼吸機能の改善について
山元拓哉, 永吉隆作, 河村一郎, 井尻幸成, 田邊 史, 榎松昌彦, 富永博之, 米 和徳, 小宮節郎
第43回日本脊椎脊髄病学会, 平成26年4月17~19日, 京都
3. BDI(Beck Depression Inventory)とJOABPEQの関与-うつ状態の場合術後成績が悪いのか?-富永博之, 田邊 史, 榎松昌彦, 永吉隆作, 山元拓哉, 米 和徳, 小宮節郎
第43回日本脊椎脊髄病学会, 平成26年4月17~19日, 京都
4. 感染性脊椎炎に対する経皮的挿入椎弓根スクリューを用いた後方前方手術成績の検討
田邊 史, 山元拓哉, 永吉隆作, 榎松昌彦, 富永博之, 武富栄二, 川内義久, 富村奈津子, 米 和徳, 小宮節郎
第81回西日本脊椎研究会, 平成26年6月6日, 岡山
5. 側弯症手術における筋誘発電位消失例の検討
佐久間大輔, 山元拓哉, 永吉隆作, 田邊 史, 榎松昌彦, 富永博之, 米 和徳
第127回西日本整形・災害外科学会, 平成26年6月7~8日, 福岡

業績目録

6. 医療従事者に対するロコモティブシンドロームの認知度調査
中辻 晋太郎, 松永 俊二, 米 和徳
第26回日本運動器学会, 平成26年7月5日, 浜松
7. 慢性圧迫性脊髄症におけるオートファジーの関与
田邊 史, 瀬戸口啓夫, 米 和徳, 小宮節郎
第29回日本整形外科学会基礎学術集会, 平成26年10月9~10日, 鹿児島
8. 急性期脊髄損傷後の stem cell factor 投与によるアポトーシス抑制機序
甲斐 千尋, 松田 史代, 米 和徳
第29回日本整形外科学会基礎学術集会, 平成26年10月9~10日, 鹿児島
9. Akihiro Hashiguchi, Yukie Inamori, Tadafumi Shiraiishi, Itsuro Higuchi, Hiroshi Takashima. X linked sideroblastic anemia and ataxia (XLSA/A) with mitochondrial myopathy and mental retardation caused by novel mutation of ATP-binding cassette transporter (ABCB7) gene. 13th International Congress on Neuromuscular Diseases - Nice - France July 2014
10. 樋口逸郎, 橋口昭大, 袁 軍輝, 稲森由恵, 白石匡史, 高嶋 博.
小児期発症の難知性 vacuolar myositis の長期経過と原因究明に関する研究
希少難治性筋疾患に関する調査研究班 IBM 分科会, 2014年1月 東京
11. 岡本裕嗣, 野妻智嗣, 袁 軍輝, 吉村明子, 橋口昭大, 渡邊 修, 樋口逸郎, 高嶋 博. Mitochondrial myopathy with episodic hyper-CK-emia の病態解明と治療法の確立, 第55回日本神経学会学術大会 2014年5月 福岡
12. 神里尚美, 仲地 耕, 袁 軍輝, 橋口昭大, 高嶋 博, 樋口逸郎.
ミトコンドリア異常症を伴う近位筋優位遺伝性運動感覚ニューロパチー(HMSN-P) 家系, 日本神経学会九州地方会 2014年6月 宮崎
13. 原田雄大¹⁾, 池田聡¹⁾, 大渡昭彦, 上川百合恵¹⁾, 根路銘周子¹⁾, 山下真紀¹⁾, 吉田輝¹⁾, 白橋いずみ¹⁾ (1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻運動機能修復学講座機能再建医学) : 光感受性色素を用いた霊長類脳梗塞片麻痺モデルの作成とその行動観察研究, 第55回日本リハビリテーション医学会学術集会, 名古屋, 2014.6.6
14. 池田聡¹⁾, 上川百合恵¹⁾, 原田雄大¹⁾, 吉田輝¹⁾, 大渡昭彦 (1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻運動機能修復学講座機能再建医学) : 筋力増強の分子生物学的検討と脳梗塞モデルを用いた機能回復の検討 (シンポジウム), 第51回日本リハビリテーション医学会学術集会, 名古屋, 2014.6.5
15. 上野友愛, 木山良二, 大渡昭彦, 前田哲男, 方向転換時の足部の運動学的分析と性差による影響, 第49回日本理学療法学術大会, 2014年 5月 (神奈川).
16. 徳永健, 木山良二, 大渡昭彦, 前田哲男, 歩行時の足角の変化が外側ウェッジの効果に及ぼす影響, 第49回日本理学療法学術大会, 2014年 5月 (神奈川).
17. 梶博則, 木山良二, 川上広高, 廣津匡隆, 瀬戸口啓夫, 石堂康弘, 藤井康成, 小宮節郎, 腱板断裂患者の肩関節動作解析, 第127回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2014年 6月 (福岡).
18. 和田隆, 小野恵, 外西正博, 有川順子, 新保直樹, 木山良二, 吉元洋一, 虚弱高齢者における屋内転倒者, 屋外転倒者の活動性・身体機能の違いによる転倒原因の調査, 九州理学療法士作業療法士合同学会2014, 2014年11月 (佐賀)
19. 村添真菜, 木山良二, 大渡昭彦, 前田哲男, ランジ動作時の足位の違いにおける下肢アライメントへの影響, 九州理学療法士作業療法士合同学会2014, 2014年11月 (佐賀)
20. トレーニングの有無がトレッドミル運動による線条体と海馬のモノアミン細胞外濃度変化に与える影響
大渡昭彦, 吉田輝, 池田聡, 原田雄大, 大重匡, 木山良二, 前田哲男
第49回日本理学療法士学術大会 神奈川県横浜市 平成26年5月31日
21. 加速度センサを用いた脳卒中片麻痺者の歩行回復過程の評価
貴嶋芳文, 木山良二, 大重匡, 前田哲男, 湯地志彦, 東祐二, 藤元登四郎, 関根正樹, 田村俊世
第49回日本理学療法士学術大会 神奈川県横浜市 平成26年6月1日
22. 部分浴 (温浴と冷浴) の温熱効果とウォーミングアップ効果について
大重匡, 村上光史朗, 東直人, 柏原加奈
九州理学療法士・作業療法士合同学会 2014 佐賀県佐賀市 平成26年11月23日
23. Ikutomo M, Sakakima H, Matsuda F, Youkai M, Kai C, Yoshida Y, Higuchi I. Midkine-deficient mice delayed degeneration and regeneration after muscle injury. Third midkine Symposium, 2014. 4.21. 21-23, Kyoto

業績目録

24. 松田史代, 榎間春利, 米和徳. トレッドミル運動介入が老化促進マウスの心筋に与える影響について. 第49回日本理学療法学会大会. 2014. 5.30-6.1, 横浜
25. 上村明子, 榎間春利, 赤崎昭朗, 砂原伸彦, 人工股関節全置換術施行患者における歩行能力に影響を及ぼす因子の検討. 第49回日本理学療法学会大会. 2014. 5.30-6.1, 横浜市
26. 中尾周平, 榎間春利, 池田聡. ICU から理学療法を介入した重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS) ウイルス感染症の一症例. 第49回日本理学療法学会大会. 2014. 5.30-6.1, 横浜市
27. 長谷場純仁, 池田聡, 榎間春利. 当院における小児心臓血管外科術後のリハビリテーションの現状について, 第20回日本心臓リハビリテーション学会, 2014.7, 京都
28. Kikuchi H, Matsuda F, Sakakima H, Yoshida Y. Association with apolipoproteinE genes and chronic cerebral hypoperfusion in onset of Alzheimer's disease. Neuro 2014. 9.11-13, Yokohama
29. 川井田豊, 信太圭一, 坂元絵菜, 中西美佳, 福留清博: MRI 検査時における緊張の緩和方法-真正ラベンダーを用いた試み-. 第42回日本放射線技術学会秋季学会大会, 札幌, 2014
30. 川井田豊, 竹田譲, 丸尾美由紀, 駿河景子, 川口夏実, 小野詩織, 福留清博: マンモグラフィ検査時の圧迫に伴う痛み緩和方法の検討. 第42回日本放射線技術学会秋季学会大会, 札幌, 2014
31. 谷山翔, 福留清博, 上嶋明, 西智洋, 川井田豊, 秦 一貴, 川路勇太: 片脚立位の自動計測化の試み. 第一回日本支援工学理学療法学会学会集會, 東京, 2014

D. その他

報告書

1. 大渡昭彦, 池田 聡, 吉田 輝, 川平和美, 脳損傷後の学習能力や運動機能改善と神経栄養因子や神経伝達物質の変化に関する研究, 平成23-25年度科学省科学研究補助金基盤研究 (C) 研究成果報告書, 2014.6

講演

1. ロコモティブシンドロームと運動器不安定症
米 和徳
平成25年度鹿児島県整形外科医会 運動器リハビリテーションセラピスト資格継続研修会, 平成26年1月19日, 鹿児島
2. 労働者の腰痛について
米 和徳
平成25年度労災診療研修会, 平成26年2月20日, 鹿児島
3. 筋ジストロフィー研修会講演
樋口 逸郎
最近の筋ジストロフィー研究について ウールリッヒ型先天性筋ジストロフィーを中心に2014年7月 徳島
4. 内部障害に対する理学療法の進め方の基本 (沖縄)
大重 匡
日本理学療法士協会研修部主催理学療法士講習会, 沖縄県那覇市, 平成26年3月2日
5. 高齢者の介護法
大重 匡
市民公開講座「脳卒中の介護方法」, 鹿児島市, 平成26年8月30日
6. 内部障害に対する理学療法の進め方の基本 (鹿児島)
大重 匡
日本理学療法士協会研修部主催理学療法士講習会, 鹿児島市, 平成26年9月7日
7. 身体力学から見たトランスファー
大重 匡
市民公開講座「リハビリテーション看護 “最後までその人らしく”を支える」
鹿児島市, 平成26年8月30日
8. 内部障害に対する理学療法の進め方の基本 (福岡)

業績目録

大重 匡

日本理学療法士協会研修部主催理学療法士講習会，福岡県福岡市，平成26年10月26日

9. 内部障害に対する理学療法の進め方の基本（東京）

大重 匡

日本理学療法士協会研修部主催理学療法士講習会，東京都大田区，平成26年11月9日

10. 大渡昭彦：新人教育「職業倫理」，鹿児島県理学療法士会主催，鹿児島市，平成26年7月6日
10. 大渡昭彦：健康管理講演会，九州農政局鹿児島地域センター主催，鹿児島市，平成26年2月7日
11. 大渡昭彦：GGlife スクール講演（肩こりについて），イオンモール鹿児島主催，鹿児島市，平成26年9月16日
12. 前田哲男，大渡昭彦，木山良二：理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学，平成25年度鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻公開講座，鹿児島市，平成26年6月14日，平成26年6月28日
13. 木山良二：転倒骨折予防教室，鹿児島市中央保健センター主催，鹿児島市，平成25年9月11日
14. 木山良二：新人教育プログラム 統計学，鹿児島県理学療法士協会主催，鹿児島市，平成26年10月26日
15. 吉元洋一：教育セミナー「理学療法教育の連携～現状から変革へ～」，第49回日本理学療法学会大会，神奈川県，平成26年6月1日
16. 吉元洋一：シンポジウム「理学療法教育の高度化を目指して」，第8回全国理学療法教育学会大会，神戸市，平成26年10月18日
17. 吉元洋一：学術集会長基調講演「日本理学療法教育学会の目指すもの」，第1回日本理学療法教育学会，名古屋市，平成26年12月6日
18. 吉元洋一：理学療法学，平成26年度「大学出張講義」，宮崎県立小林高等学校，平成26年6月21日
19. 吉元洋一：理学療法学，平成26年度「大学出張講義」，鹿児島県立松陽高等学校，平成26年7月3日
20. 吉元洋一：理学療法学，平成26年度「大学出張講義」，鹿児島県立武岡台高等学校，平成26年7月5日

〔作業療法学専攻〕

A. 著書

1. 赤崎安昭，榎本貞保：精神作用物質による精神および行動の障害，学生のための精神医学第3版，太田保之，上野武治編集，医歯薬出版株式会社，東京，2014，p59-74.

B. 論文

1. 赤崎安昭，森岡洋史*，小山徹平**，上村佳代**，柳田信彦，井上和博，築瀬誠（*鹿児島大学保健管理センター，**鹿児島大学病院臨床心理学）：裁判員裁判と精神鑑定 - 広汎性発達障害の事例，精神科2014; 24(2) : 216-225.
2. 有川瑛人*，窪田正大，原口友子*，日吉俊紀*，山下正策*，浜田博文（*加治木温泉病院）：音韻失読一症例の系列的な情報処理能力について - 「無意味」な順序の系列化に着目して - . 鹿児島高次脳機能研究会会誌 2014; 25(1) : 13-20.
3. 池田由里子：社会福祉国家「デンマーク」からの学び - 高齢者の地域生活を支える仕組みとは - . 鹿児島大学医学部保健学科紀要 2014; 24(1) : 27-34.
4. 井上和博，柳田信彦，深見真也，深野佳和：保育園児を持つ母親の育児ストレスとその関連要因との関係，鹿児島大学医学部保健学科紀要 2014; 24(1) : 35-42.
5. 春日井基文*，福田恭哉，竹之内 薫，山畑良蔵，赤崎安昭，佐野 輝（*鹿児島大学病院，：医療観察法入院処遇対象者の身体合併症に対する総合病院精神科における治療構造設定，臨床精神医学 2014; 43(9); 1272-1296.
6. 窪田正大，有上栄香*，小川千穂*，日吉俊紀*，山下正策*（*加治木温泉病院）：社会的行動障害を伴った脳出血患者の認知リハビリテーション-衝動性のコントロールを目指して-. 鹿児島大学医学部保健学科紀要 2014; 24(1) : 19-25.
7. 小城くみこ*，赤崎安昭，楠本 朗**，堀切 靖***，森岡洋史****（*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野，**産業医科大学，***鹿児島県立始良病院，****鹿児島大学保健管理センター：「強迫性緩慢」の再考 - 強迫性を通して社会復帰を目指すことが可能となった自閉症スペクトラム障害の1例，臨床精神病理 2013; 34(3) : 255-263.
8. 坂元ゆかり*，築瀬 誠（*谷山病院）：在宅精神障害者の自尊感情とADL能力との関連性に関する研究，保健の科学 2014; 56(8)，559-565.
9. 能登真一*，村井千賀**，竹内さおり***，岩瀬義昭，中村春基****，（*新潟医療福祉大学，**石川県立高松病院，***甲南

業績目録

- 女子大学, ***兵庫県立総合リハビリテーション中央病院): 地域在住の要介護高齢者に対する「生活行為向上マネジメント」を用いた作業療法の効果 - 多施設共同ランダム化比較試験 - . 作業療法 2014; 33 (3) : 259-269.
10. Noma T*, Matsumoto S**, Shimodozono M**, Iwase Y, Kawahira K** (*Department of Rehabilitation, Kirishima Rehabilitation Center of Kagoshima University Hospital, **Department of Rehabilitation and Physical Medicine, Graduate school of Medical and Dental Sciences) : Novel Neuromuscular Electrical Stimulation System for the Upper Limbs in Chronic Stroke Patients. American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation 2014; 93 (6) : 503-510.
 11. 濱崎健太*, 村上直之*, 田中有貴*, 岩瀬義昭, 大勝洋祐* (*医療法人三州会大勝病院) : 健常者を対象とした家庭用ゲーム機と注意機能の関連性について. 鹿児島高次脳機能研究会会誌 2014; 25 (1) : 28-31.
 12. 深見真也, 井上和博, 深野佳和 : 小児における認知課題遂行と姿勢制御の相互作用に関する研究, 鹿児島大学医学部保健学科紀要 2014; 24 (1) : 43-48.

C. 学会発表

1. 赤崎安昭, 森岡洋史, 柳田信彦, 井上和博, 築瀬 誠, 山畑良蔵 : カプグラ症候群に関する考察 (第2報). 第10回日本司法精神医学会. 那覇市, 2014.5.16.17.
2. 有川瑛人*, 窪田正大, 原口友子*, 日吉俊紀*, 山下正策*, 浜田博文 (*加治木温泉病院) : 音韻失読一症例の系列的な情報処理能力について - 「無意味」な順序の系列化に着目して - . 第31回鹿児島高次脳機能研究会. 鹿児島市, 2014. 4.18.
3. 有川瑛人*, 窪田正大, 原口友子*, 日吉俊紀*, 山下正策*, 浜田博文 (*加治木温泉病院) : 音韻失読一症例の系列的な情報処理能力について - 言語性・非言語性の系列課題を用いた試み - . 第15回日本言語聴覚学会. さいたま市, 2014.6.29.
4. 池田俊昭*, 竹内明禅*, 窪田正大, 五十峯淳一*, 八反丸健二* (*八反丸病院) : 本態性肩こりとの関連因子について-アンケート調査および頸椎アライメントの計測から-. 九州理学療法士・作業療法士合同学会2014. 佐賀市, 2014.11.22.
5. 井上和博, 柳田信彦, 深野佳和, 築瀬 誠, 赤崎安昭 : 地域における発達障害児への早期支援. 第91回鹿児島精神神経学会. 鹿児島市, 2014.11.8.
6. 井上和博, 柳田信彦, 深野佳和, 築瀬 誠, 赤崎安昭 : 保育士・幼稚園教諭が発達障害児を保育教育する上で感じる「難しさや困り感」. 第67回九州精神神経学会. 福岡市, 2014.12.4.5.
7. 緒方匡*, 東祐二*, 藤元登四郎**, 田村俊世**, 岩瀬義昭 (*藤元総合病院, **藤元メディカルシステム, ***大阪電気通信大学) : 脳血管障害者における外出視線結果の検討. 第16回 WFOT 大会. 横浜市, 2014.6.
8. 春日井基文, 福田恭哉, 竹之内 薫, 山畑良蔵, 赤崎安昭, 佐野 輝 : 医療観察法対象者で身体合併症治療を要した2症例に対する総合病院精神科の治療構造設定と問題点.第10回日本司法精神医学会. 那覇市,2014.5.16.17.
9. 春日井基文, 福田恭哉, 竹之内 薫, 山畑良蔵, 赤崎安昭, 佐野 輝 : 医療観察法入院処遇対象者で身体合併症に対する総合病院精神科の治療構造設定と問題点.第100回日本精神神経学会学術総会. 横浜市, 2014.6.26.27.28.
10. 久住 勇介*, 眞田 俊介*, 末廣 昌平*, 柳田 信彦 (*鹿児島県立始良病院) : 鹿児島県立始良病院の医療観察法病棟における就労準備プログラムの実施を通して, 第25回鹿児島県作業療法学会. 鹿児島市, 2014. 3.16.
11. 末廣 昌平*, 柳田 信彦 (*鹿児島県立始良病院) : 精神科救急病棟における作業療法士の役割, 第25回鹿児島県作業療法学会. 鹿児島市, 2014. 3.16.
12. 平一倫*, 池田俊昭*, 窪田正大, 竹内明禅*, 五十峯淳一*, 八反丸健二* (*八反丸病院) : 臥床患者の大腿直筋に対する中周波電気刺激筋厚におよぼす影響-超音波診断装置による効果判定-. 第27回鹿児島県理学療法士学会. 鹿児島市, 2014. 2.16.
13. 竹内明禅*, 五十峯淳一*, 窪田正大, 八反丸健二* (*八反丸病院) : 男子中学サッカー選手における“ The11+ ”の有用性の検討 第2報 - アイシングとの併用 - . 第49回日本理学療法学会大会. 横浜市, 2014.6.1.
14. 達野志織*, 中村裕樹*, 久保はるみ*, 八反丸健二*, 窪田正大 (*八反丸病院) : 脳卒中地域連携パスを用いての ADL 予後予測に関する研究. 第25回鹿児島県作業療法学会. 鹿児島市, 2014. 3.16.
15. 繁昌教子*, 永留篤男*, 池田俊昭*, 岡部千麻*, 平石一郎*, 窪田正大, 竹内明禅*, 五十峯淳一*, 八反丸健二* (*八反丸病院) : 客観的臨床能力試験 (OSCE) を使用した新人教育の取り組み. 第27回鹿児島県理学療法士学会. 鹿児島市, 2014. 2.16.
16. 田中綾子, 築瀬 誠 : 精神科デイケアにおける利用中止理由とその要因, 第25回鹿児島県作業療法学会, 鹿児島市, 2014.3.16
17. 外山慶一*, 松元秀次**, 岩瀬義昭, 瀬戸口春香*, 倉澤美穂*, 野間知一*, 下堂園恵** (*鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター, **鹿児島大学大学院医学総合研究科) : 神経筋電気刺激による舌骨と喉頭運動の促進 - 実用性と安全性の検討 - . 第20回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会. 東京都, 2014.9.

業績目録

18. 中村裕樹*, 八反丸健二*, 岩井信彦**, 窪田正大 (*八反丸病院, **神戸学院大学): 運動器疾患患者のADL構造解析. 第49回日本理学療法学会大会. 横浜市, 2014.5.31.
19. 中山千春*, 瀬戸山弘貴*, 竹内明禅*, 五十峯淳一*, 窪田正大, 八反丸健二* (*八反丸病院): 回復期病棟入院中の家族教室の取り組み-脳卒中患者家族の気分に関する調査-. 一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会第23回研究大会 in 名古屋. 名古屋市, 2014. 2. 7.
20. 永留篤男, 五十峯淳一*, 八反丸健二*, 窪田正大 (*八反丸病院): 医療従事者の腰痛と日常生活・勤務状況の関連. 九州理学療法士・作業療法士合同学会2014. 佐賀市, 2014.11.23.
21. 能登真一*, 村井千賀**, 竹内さおり***, 岩瀬義昭, 中村春基**** (*新潟医療福祉大学, **石川県立高松病院, ***甲南女子大学, ****兵庫県立総合リハビリテーション中央病院): 地域在住高齢者に対する「生活行為向上マネジメント」の長期的効果について. 第16回WFOT大会. 横浜市, 2014.6.
22. 濱崎健太*, 村上直之*, 田中有貴*, 岩瀬義昭, 大勝洋祐* (*医療法人三州会大勝病院): 健常者を対象とした家庭用ゲーム機と注意機能の関連性について. 第31回鹿児島高次脳機能研究会. 鹿児島市, 2014, 4.
23. 春田昂祐*, 吉満孝二, 田中茂穂*, 上真之*, 萩原隆二* (*高田病院): wii fitを用いた透析患者のパフォーマンスの関する一考察. 第4回日本腎臓リハビリテーション学会. 福岡市, 2014.3.
24. 松元友和*, 吉満孝二, 荻由梨香*, 田中茂穂*, 上真之*, 萩原隆二* (*高田病院): 透析患者の注意機能の研究-透析日, 非透析日の差異について. 第4回日本腎臓リハビリテーション学会. 福岡市, 2014.3.
25. YANAGIDA Nobuhiko, NAKAYAMA Yuuki*, INOUE Kazuhiro, YANASE Makoto, UCHINO Toshiro** (*Kagoshima Mental Hygiene Association Yokoyama Hospital, **Department of Psychiatry, Kurume University School of Medicine): Psychoeducation may improve autonomy in drug administration between inpatients with schizophrenia and schizoaffective disorder. The 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapy, Kanagawa, 2014.6.19
26. 柳田信彦, 井上和博, 築瀬 誠, 赤崎安昭: 作業療法士養成課程大学生の実習における精神障害に対するイメージ変化. 第67回九州精神神経学会. 福岡市, 2014.12.4.5.
27. Makoto YANASE, Shouchi ARIMURA*, Kei KODAMA*, Yuichi KODAMA* (*Kodama Hospital): Attempt to upgrade the values of the items produced during occupational therapy in collaboration with a store operated by persons with mental handicaps, The 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapy, Kanagawa, 2014.6.19
29. 吉田昇司*, 窪田正大, 繁昌教子*, 瀬戸山弘貴*, 竹内明禅*, 五十峯淳一*, 八反丸健二* (*八反丸病院): 回復期病棟退院後のADLとIADLの変化. 一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会第23回研究大会 in 名古屋. 名古屋市, 2014. 2. 7.
30. 吉牟田泰史, 中村雅之, 有川英介, 藤元登四郎, 竹内康三, 高田橋篤史, 藤田晴吾, 中別府良昭, 赤崎安昭, 佐野 輝: オランザピンで効果があつた未治療初発統合失調症に対する縦断的なFDG-PET研究. 第100回日本精神神経学会学術総会. 横浜市, 2014.6.26.27.28.
31. 四元祐子*, 築瀬 誠, 渡 裕一** (*鹿児島医療技術専門学校, **神村学園専修学校): 臨床実習指導者が求める作業療法学生の能力 - 内容分析を用いて -, 九州理学療法士・作業療法士合同学会2014, 佐賀市, 2014.11.

D. その他

1) 著書・論文・報告書

1. 築瀬 誠: 作業療法学生のための基礎統計テキスト - 標本抽出から仮説検定まで. 鹿児島県作業療法士会研修テキスト, 2014.

2) 講演, 他

1. 赤崎安昭: カリキュラム目標設定・方略の作成. 評価の計画づくり (基礎編), 平成25年度精神科七者懇西日本地区「臨床研修指導医研修会」, 福岡市, 2014.2.1.2.
2. 赤崎安昭: 司法精神医学の基本 - 精神鑑定を中心に, ワークショップ「事例検討会」日本精神神経学会司法精神医学委員会, 平成25年度第1回司法精神医学研修会福岡市, 2014.2.16.
3. 赤崎安昭: 「司法精神医学と臨床精神医学の接点 - 精神鑑定から見えてくるもの」, 社会医療法人慈生会ウエルフェア九州病院 定期講演会, 枕崎市, 2014.3.1.
4. 赤崎安昭: 「パーソナリティとパーソナリティ障害 - 事例の提示も含めて」, 産業保健研修会, 鹿児島産業保健総合支援セン

業績目録

- ター、鹿児島市、2014.6.5.
5. 赤崎安昭：初発統合失調症患者への説明と精神療法の実際 - 家族への説明と精神療法も含めて、NPO 法人かれん鹿児島交流会講演会、鹿児島市、2014.7.20.
 6. 赤崎安昭：司法精神医学の基本 - 精神鑑定を中心に、ワークショップ「事例検討会」、日本精神神経学会司法精神医学委員会第2回司法精神医学研修会、金沢市、2014.8.3.
 7. 赤崎安昭：精神疾患の病態と治療 - 統合失調症とうつ病を中心に、平成26年度鹿児島県理学療法士会研修会、鹿児島市、2014.8.10.
 8. 赤崎安昭：「うつ病 - 本人・家族への説明のスキル」、産業保健研修会 鹿児島産業保健総合支援センター、鹿児島市、2014.9.4.
 9. 赤崎安昭：責任能力鑑定 - 殺人被疑事件の事例を通して -、ワークショップ「事例検討会」、第5回鹿児島司法精神鑑定人研究会、鹿児島市、2014.9.30.
 10. 赤崎安昭：「神経症性障害を知る - 病態と治療など」、産業保健研修会 鹿児島産業保健総合支援センター、鹿児島市、2014.12.18.
 11. 赤崎安昭：「成人期にみられる問題行動の発生基盤 - 精神病理は存在するのか?」、第22回鹿児島精神病理・精神療法研究会、鹿児島市、2014.12.16.
 12. 赤崎安昭：「精神鑑定における倫理と中立性」、第6回刑事精神鑑定ワークショップ、東京、2014.12.20.
 13. 井上和博：気になる子どもの理解と対応～作業療法士の視点から～、ひおき地区保育連合会職員研修会、日置市、2014.6.7.
 14. 井上和博：気になる子どもの理解と対応～生活動作と遊びについて～、鹿児島県発達支援通園事業協議会研修会、鹿児島市、2014.7.27.
 15. 井上和博：地域療育について、鹿児島県作業療法士会発達支援チーム研修会、鹿児島市、2014.8.17.
 16. 井上和博：子どもの気になる行動・動作の理解と対応～作業療法士の視点から～、鹿児島県作業療法士会公開講座、鹿児島市、2014.10.19.
 17. 井上和博：子どもの気になる行動・動作の理解と対応～作業療法士の視点から～、鹿児島市社会事業協会職員研修、鹿児島市、2014.11.21.
 18. 井上和博：子どもの遊びとおもちゃ選び、鹿児島市北部親子つどいの広場、鹿児島市、2014.12.16.
 19. 井上和博：幼児期・学童期にみられる問題行動の理解と対応～作業療法士の立場から～、第22回鹿児島精神病理・精神療法研究会、鹿児島市、2014.12.16.
 20. 岩瀬義昭：身体障害領域の基礎知識. 平成26年度 鹿児島県作業療法士会 現職社選択研修会 (身体障害領域). 鹿児島市、2014.11.9.
 21. 窪田正大：脳卒中のリハビリテーション 高次脳機能障害を考える 注意障害・記憶障害・遂行機能障害・社会的行動障害 . 平成26年度 鹿児島県作業療法士会 現職社選択研修会 (身体障害領域). 鹿児島市、2014.11.9.
 22. 築瀬 誠：障害者を取り巻く環境はどのように変わったか - 過去30年間を振り返る - . 平成26年度 NPO 法人かれん鹿児島総会講演、鹿児島市、2014.5.25.
 23. 築瀬 誠：データの収集と分析方法について - その1 - . 平成26年度鹿児島県作業療法士会研究法研修会、鹿児島市、2014.6.4.
 24. 築瀬 誠：作業療法学. 平成26年度鹿児島県立錦江湾高校出前講義、鹿児島市、2014.7.8.
 25. 築瀬 誠：栄養士・作業療法士連携下での作業療法実施の可能性を探る - 日常生活の制限 - 6要因モデルに基づく検討 - . 平成26年度鹿児島県精神科病院栄養士部会研修会、鹿児島市、2014.7.12.
 26. 築瀬 誠：データの収集と分析方法について - その2 - . 平成26年度鹿児島県作業療法士会研究法研修会、鹿児島市、2014.7.17.
 27. 築瀬 誠：統合失調症患者に見られる一般的行動特性と対応. 平成26年度鹿児島県理学療法士協会学術部研修会、鹿児島市、2014.8.10.
 28. 築瀬 誠：日常生活の制限 - 6要因モデルを用いた利用者理解とアプローチ. 平成26年度かごしまデイケア連絡協議会第2回研修会、鹿児島市、2014.12.16.
 29. 吉満孝二：生涯教育システムの改正と協会の事例報告登録～手順と実際. 鹿児島県作業療法士会研修会、鹿屋市、2014.10.
 30. 吉満孝二：エビデンスと作業療法. 鹿児島県作業療法士会現職者共通研修. 鹿児島市、2014.12.
 31. 吉満孝二：食事動作における OT アプローチ. 社会福祉法人常磐会法人研修会. 鹿児島市、2014.6.
 32. 吉満孝二：作業療法におけるアクティビティの活用法. 社会福祉法人常磐会法人研修会. 鹿児島市、2014.9.